



クラスだより



いちご組（0歳児）

園生活に慣れて、最近はかわいいたずらが増えてきました。ペーパーを引っ張り出したり、タオルをかごから出したり、と夢中です。片付けるそばで再びせっせと引っ張り出して…の繰り返しです。散らかしているように思える行動ですが、指先や腕の筋肉の発達を促す大事な遊びなのだそうです。小さい物をつかむと同時に、自分の方へ引く動作も必要ですね。小さいボールをつかんで離せるようになった子や物を右手から左手に持ち変えるようになった子。1つひとつの遊び(動作)が、全て身体の発達に繋がっているのだなと改めて感じています。ある日の食後、水を触ろうと大きい組の水道に3人で一緒につかまり立ち！月齢の違う3人が同じ遊びをしたくて、くっついて手を伸ばす後ろ姿が、お家の方に見てもらいたい位可愛かったのですよ。（正田）



さくら組（1歳児）

園周辺の水田ではカエルの合唱が響き渡り、時折吹く爽やかな風が季節の移ろいを感じさせてくれます。子ども達も不安や緊張から少しずつ解放され安心して園生活を送りつつあります。ここに至るまでには保護者の皆様のサポートがあったからこそです。ありがとうございます。不安や緊張を緩めるには肌の触れ合いが一番ですね。多くの言葉を交わすよりもダイレクトに想いが伝わり気持ちが安定します。また「皮膚は露出した脳」と言われ、肌に触れることで脳や身心の発達を促し、大きな役割を果たすそうです。俗に言う「幸せホルモン(オキシトシン)」の分泌のおかげでしょうか。同時に、大人側にとっても安らぎやストレス解消という恩恵もありますよね。体からのアプローチも日々大切に、お子さんとの心地良いふれあいを楽しんでください。（武井）



ちゅうりっぷ組（2歳児）

5月が過ぎ、子ども達が日々の生活の中で、一つ一つの行動に変化が見られるようになりました。次に何をするのかを理解し、外遊びから帰った後は必ずトイレに行く、着替えの時進んで着替え始める等、時には保育士が促す前に自分の力で進めようとする様子も見られます。また5月は保育参加で、子ども達の様々な制作のアイデアに驚かされましたね。目玉の黒目を黒ペンを使わず、丸シールを貼って目にしたり、触角を大人が想定していた形ではなく1本だったり、輪っかのような触角にして、個性的でそれぞれの特色を作品に表現する事を楽しんでいました。今後も、制作をする際には何より第一に楽しめるように、子どもの「やってみたい」を大切に、その結果出来た作品を保護者の方も一緒に楽しんでいただければと思います。（石井）



もも組（3歳児）

温かい日差しの中、汗ばむくらいに戸外遊びを楽しんでいる子ども達。今月から水筒を持って登園すると「これ買ってもらったの」「かっこいいでしょう」と嬉しそうに話してくれます。水筒を持って散歩に行き、水分補給をする際に蓋がしっかり閉まっておらずこぼしてしまう子もいますが、子ども達にとって水筒を持っていく散歩は特別感でいっぱいですね。先日の保育参加ありがとうございました。保護者の方と製作をしたり、作ったもので遊ぶ姿を見ることができ、こちらも嬉しかったです。ふれあい遊びでは子ども達同士のじゃんけんを側で見守り勝利すると一緒に喜び、感動を共有していたのが良かったと思います。素敵な時間をありがとうございました。6月からお当番活動が始まります。朝の会・帰りの会・野菜に水をあげるなど2人1組日替わりで進めていきたいと思っています。（今井）



ばら組（4歳児）

汗ばむ陽気になり、用意して頂いた水筒を友だちと飲みながら「冷たくて、美味しいね～」と笑顔を咲かせています。

保育参加では、活動の様子、大好きなリズムを楽しむ姿を見ていただきありがとうございました。子ども達も保護者の方に見守られ嬉しそうでしたね。

先日、園庭で見たことのない不思議な形の虫を発見！すると子ども達から「あっ！図鑑」と言って部屋に取りに行きました。残念ながらそのポケット図鑑にはその虫は載っていませんでしたが「図鑑で調べてみよう」と思いついたことがすごいことだと思いき嬉しくなりました。「図鑑で調べる」という行為自体がかっこよく、興味関心の広がりにつながりました。子ども達のやってみたい、やってみよう！という気持ちを大切に見守りながら過ごしていきたいと思っています。（滋野）



ゆり組（5歳児）

先日の保育参加では、事前の準備等ありがとうございました。子ども達に感想を聞くと、「たのしかった！」と嬉しい時間を思い出すかのように、笑顔で答えてくれました。最近は園庭でドッジボールをしたり、裸足でどろんこで遊んでいます。カタツムリやダンゴ虫探しはまるで宝探しですよ。室内ではスライム作りを行いました。大きなタライを使って手や足で冷たく柔らかい感触を楽しみました。女の子は「このおようふくよごしたくないからきがえる～」なんて言いながら必死になってこねていました。子ども達が集中してなにかに取り組み、打ち込めるものがあるのはこの時期の成長過程で大切なことですね。これから行事に向けた練習を一生懸命取り組みながらも、思いきり遊び、集中できる楽しいことを積極的に取り入れていきたいと思っています。（月足）